



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

国営土地改良事業地区調査

南薩地区事業計画書策定その他業務

積算書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S16001	*** S単 - 1号 *** ライトバン[ガリオン]二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 運転1日当たり算出		日	2,410		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 1-2. 既存資料の把握・整理 設計労務(直接人件費内業)		式	419,250		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 2-1. 用水計画語元の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	685,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 2-2. 水収支計算 設計労務(直接人件費内業)		式	1,747,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 2-3. 計画基準年の検証 設計労務(直接人件費内業)		式	429,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 3-1. 施設整備計画の資料作成 設計労務(直接人件費内業)		式	1,697,600		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 4-1. 事業費の精査 設計労務(直接人件費内業)		式	1,349,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 5-1. 土地改良事業計画書(案)の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	1,156,800		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 5-2. 土地改良事業計画書(案) 補足説明資料の更新 設計労務(直接人件費内業)		式	2,372,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 5-3. 新規地区検討会資料の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	2,873,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 6-1. 河川協議資料作成 設計労務(直接人件費内業)		式	3,052,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** 7. 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	200,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** 8. 点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	435,900		歩A・単A
S63007	*** S単 - 14号 *** 1-1. 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	500,400		歩A・単A
S63007	*** S単 - 15号 *** 基準日額(現地調査) 設計労務(直接人件費外業)		式	166,800		歩A・単A
S63010	*** S単 - 16号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 一般工程, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.76日		回	159,390		歩A・単A
S63010	*** S単 - 17号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 一般工程, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.76日		回	136,206		歩A・単A
S63017	*** S単 - 18号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km L(100km以上)		式	100,648		歩A・単A
S63024	*** S単 - 19号 *** 業務報告書作成(その他) 業務報告書作成(その他) 1, A - 4以下, 1000, 1, A - 4以下, 薄手(黒文字入)		式	17,070		歩A・単A
T00001	*** T単 - 1号 *** 打合せ(旅費・交通費) 着手前・最終		回	13,176		歩A・単A
T00002	*** T単 - 2号 *** 打合せ(旅費・交通費) 中間		回	13,176		歩A・単A

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S16001	フォルクスワーゲン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L 運転 1日当たり算出		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	1)機械コード 単位が時間のみ 2)機械コード (同上)	M28121 M28121				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	3)機械損料算出区分 4)運転 1日当たり運転時間(T)	運転 1日当たり算出 6.0時間				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	5)運転日に対する供用日の割合(YC) 6)単価計上区分	1.19 機械損料等のみ				
	7)岩石補正区分 10)燃料消費量(入力の場合)	岩石補正なし 0.0				
	11)消耗部品の計上の有無 13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品) 15)規格(消耗部品)	-				
M28121	フォルクスワーゲン 二輪駆動 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	2,410	2,410	
	合計				2,410	算出数量 1,000 各単位
	単価		各単位		2,410	
Y00001	単位					
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	1-2. 既存資料の把握・整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 0.50人 1.00人 2.00人 3.00人 3.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				419,250	算出数量 1,000 式
	単価		式		419,250	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	2-1. 用水計画諸元の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 1.00人 2.00人 4.00人 4.00人 4.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)	4.000	人	40,300	161,200	
R04007	技術員	4.000	人	36,100	144,400	
	合計				685,700	算出数量 1,000 式
	単価		式		685,700	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	2-2.水収支計算		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)					
		5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B)					
		10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)					
		10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員					
		10.000	人	36,100	361,000	
	合計				1,747,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,747,700	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	2-3.計画基準年の検証		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)					
		1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)					
		3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)					
		3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員					
		1.000	人	36,100	36,100	
	合計				429,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		429,000	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	3-1.施設整備計画の資料作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	13.00人				
	7)技術員の人数	13.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)					
		5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B)					
		7.000	人	48,500	339,500	
R04006	技師(C)					
		13.000	人	40,300	523,900	
R04007	技術員					
		13.000	人	36,100	469,300	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				1,697,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,697,600	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	4-1.事業費の精査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	1.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	3.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	7.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の数	10.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	7.000	人	48,500	339,500	
R04006	技師(C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合計				1,349,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,349,200	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	5-1.土地改良事業計画書(案)の更新 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	3.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	3.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	5.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	7.00人				
	7)技術員の数	7.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)	7.000	人	40,300	282,100	
R04007	技術員	7.000	人	36,100	252,700	
	合計				1,156,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,156,800	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	5-2.土地改良事業計画書(案) 補足説明資料の更新 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	3.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	5.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	15.00人				亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の数	15.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B)	15.000	人	48,500	727,500	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04006	技師 (C)	15.000	人	40,300	604,500	
R04007	技術員	15.000	人	36,100	541,500	
	合計				2,372,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,372,200	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	5-3.新規地区検討会資料の作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	20.00人				
	7)技術員の数	20.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師 (A)	7.000	人	59,600	417,200	
R04005	技師 (B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師 (C)	20.000	人	40,300	806,000	
R04007	技術員	20.000	人	36,100	722,000	
	合計				2,873,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,873,400	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	6-1.河川協議資料作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	20.00人				
	7)技術員の数	20.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師 (A)	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師 (C)	20.000	人	40,300	806,000	
R04007	技術員	20.000	人	36,100	722,000	
	合計				3,052,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		3,052,200	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	7. 照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				200,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		200,700	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	8.点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	1.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	2.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	2.00人				亜熱帯補正:なし
	6)技師Cの人数	2.00人				超勤時間:0.0
	7)技術員の数	2.00人				
R04003	主任技師		1.000 人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)		2.000 人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)		2.000 人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)		2.000 人	40,300	80,600	
R04007	技術員		2.000 人	36,100	72,200	
	合計				435,900	算出数量 1.000 式
	単価		式		435,900	
	*** S単 - 14号 ***					
S63007	1-1.現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	3.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	3.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	0.00人				亜熱帯補正:なし
	6)技師Cの人数	3.00人				超勤時間:0.0
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		3.000 人	66,900	200,700	
R04004	技師(A) 外業		3.000 人	59,600	178,800	
R04006	技師(C) 外業		3.000 人	40,300	120,900	
	合計				500,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		500,400	
	*** S単 - 15号 ***					
S63007	基準日額(現地調査) 設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	3)主任技師の人数	1.00人				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0
	4)技師Aの人数	1.00人				深夜時間:0.0
	5)技師Bの人数	0.00人				亜熱帯補正:なし
	6)技師Cの人数	1.00人				超勤時間:0.0
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師 外業		1.000 人	66,900	66,900	
R04004	技師(A) 外業		1.000 人	59,600	59,600	
R04006	技師(C) 外業		1.000 人	40,300	40,300	
	合計				166,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		166,800	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 16号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.76日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.760日				
R04003	主任技師		1.260 人	66,900	84,294	
R04004	技師(A)		1.260 人	59,600	75,096	
	合計				159,390	算出数量 1,000 回
	単価		回		159,390	
	*** S単 - 17号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.76日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.760日				
R04004	技師(A)		1.260 人	59,600	75,096	
R04005	技師(B)		1.260 人	48,500	61,110	
	合計				136,206	算出数量 1,000 回
	単価		回		136,206	
	*** S単 - 18号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,1.00日,2日,4時間,なし,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)宿泊地	乙地				
	2)交通機関区分	ライトバン				
	3)高速道路往復料金(税別)	7,980円				
	4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)ライトバン使用日数	2日				
	10)時間区分	4時間				
	11)補正区分	なし				
	12)技師長外業日数	0.000日				
	13)主任技師外業日数	3.000日				
	14)技師A外業日数	3.000日				
	15)技師B外業日数	0.000日				
	16)技師C外業日数	3.000日				
	17)技術員外業日数	0.000日				
	18)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き		2.000 人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き		2.000 人	1,000	2,000	
P54205	設計用技師(C)日当 消費税抜き		2.000 人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)		1.000 人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)		1.000 人	8,909	8,909	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	南薩地区事業計画書策定その他業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P54005	設計用技師(C) 宿泊費 (乙地)消費税抜き(3 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	2.000	人	8,354	16,708	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,980	7,980	
M28121	イトバン[ガリエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	21.600	L	172	3,715	
	合 計				100,648	算出数量 1.000 式
	単 価		式		100,648	
	*** S 単 - 19号 ***					
S63024	業務報告書作成(その他)		式		1,000	歩A 当たり算出
	業務報告書作成(その他) 1. A - 4 以下, 1000, 1. A - 4 以下, 薄手(黒文字入)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 報告書焼付部数(部)	1		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 報告書規格区分	A - 4 以下		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 原稿枚数区分(枚)	1000		深夜時間:0.0		
	4) 表紙部数(部)	1				
	5) 表紙規格区分	A - 4 以下				
	6) 表紙区分	薄手(黒文字入)				
P43504	報告書焼付代(コピー) A - 4 以下 1 0 0 0 枚	1.000	部	12,700	12,700	
P43454	報告書表紙代 薄手(黒文字入) A - 4	1.000	部	4,370	4,370	
	合 計				17,070	算出数量 1.000 式
	単 価		式		17,070	

令和7年度 国営土地改良事業地区調査
南薩地区事業計画書策定その他業務

特別仕様書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

第1-1条 (適用範囲)

令和7年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区事業計画書策定その他業務（以下「本業務」という。）の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2条 (目的)

本業務は、国営土地改良事業地区調査南薩地区の一環として、土地改良事業計画書（案）の更新及び河川協議資料の作成を行うものである。

第1-3条 (場所)

本業務において対象とする施設の場所は、鹿児島県枕崎市、指宿市及び南九州市地内で別添位置図に示すとおりである。

第1-4条 (土地への立ち入り等)

作業に伴う立木伐採等については共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

第1-5条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- 2 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- 3 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

第1-6条 (管理技術者)

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

第1-7条（照査技術者）

- 1 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- 2 共通仕様書第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 設計作業着手前の段階
- (2) 施設整備計画資料のとりまとめ段階
- (3) 河川協議資料のとりまとめ段階
- (4) 土地改良事業計画書（案）とりまとめ段階
- (5) 報告書原稿作成段階
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

- 3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

第1-8条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

第1-9条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

第1-10条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

第2-1条（作業条件）

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- 1 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- 2 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- 3 現地調査に伴い、施設内に立ち入る場合は、監督職員と打合せを行い、施設管理者と調整を行うものとする。
- 4 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

第2-2条（基本条件）

本業務の設計作業における基本条件は、次のとおりである。

1. 地区概要

項目	数量等	備考
受益面積	約 5,800ha（令和6年4月時点）	
整備構想	頭首工（改修）3か所、揚水機場（改修）4か所、 加圧機場（改修）5か所、用水路附帯施設（改修）1式 ファームホント（改修）6か所、水管理施設（改修）1式 その他施設（改修）1式（検討中）	

2. 水源施設等（現行水利権）

(1) 河川

水源	最大注水用 取水量 (m ³ /s)	最大予備 取水量 (m ³ /s)	取水制限流量 (m ³ /s)	年間総取水量 (千 m ³)
馬渡川	10.5	3.083	0.05	22,130
高取川	4.5	3.083	0.05	9,460
集川	2.0	2.000	0.08	6,320

(2) 池田湖

1) 有効貯水量：42,500 千 m³

2) 管理水位：EL62.0～66.0m

注水・取水口	最大取水量 (m ³ /s)	備考
東部取水口	0.622	
南部取水口	1.123	
西部第一取水口	3.083	最大予備取水量
西部第一取水口	10.500	最大注水量

第2-3条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次表によるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	国営土地改良事業 調査計画マニュアル	(社) 農業土木事業協会	平成6年6月
2	農業農村整備事業計画作成便覧	(株) 地球社	平成15年8月
3	土地改良事業計画設計基準農業用水(畑)	(公社) 農業農村工学会	平成27年5月
4	国営土地改良事業計画書の記載方法	農林水産省農村振興局	令和5年8月

第2-4条（貸与資料等）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	南薩地区事業誌及び事業成績書、工事完成図	1式
2	平成26年度国営土地改良事業地区調査南薩地区事業計画（案）とりまとめ業務報告書	1式
3	令和4年度地域整備方向検討調査南薩地域事業構想案策定業務報告書	1式
4	令和4年度地域整備方向検討調査南薩地域費用対効果算定他業務報告書	1式
5	令和4年度地域整備方向検討調査南薩地域一定地域整理等業務報告書	1式
6	令和5年度地域整備方向検討調査南薩地域とりまとめ業務報告書	1式

番号	貸与資料	数量
7	令和5年度地域整備方向検討調査南薩地域基礎調査業務 報告書	1式
8	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区用水計画検討その他業務 報告書	1式
9	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区営農計画及び費用対効果更新業務 報告書	1式
10	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区環境配慮計画検討業務 報告書	1式
11	令和6年度国営土地改良事業地区調査南薩地区耐震対策検討その他業務 報告書	1式
12	令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業南薩地区施設機能診断調査他業務 報告書	1式
13	南薩地区河川協議関係資料	1式
14	気象・水文データ（平成7年～令和6年）	1式
15	業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

第2-5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第2-6条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

番号	業務名	業務実施期間
1	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 南薩地区施設耐震対策検討他業務（仮称）	R7.5～R8.3（予定）
2	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区営農計画及び費用対効果更新業務（仮称）	R7.8～R8.3（予定）
3	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 南薩地区環境配慮計画取りまとめ業務	R7.4～R8.3（予定）

第3章 作業内容

第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次項の作業項目表のとおりである。

なお、用水計画及び施設整備計画に関係する施設の概要は別紙1「対象施設一覧表」、作業の詳細は別紙2「作業項目内訳表」に示すものとする。

【作業項目表】

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 用水計画の更新	1式	
3. 施設整備計画の資料作成	1式	
4. 事業費の精査	1式	
5. 土地改良事業計画書（案）の更新	1式	
6. 河川協議資料の作成	1式	
7. 照査	1式	
8. 点検とりまとめ	1式	

第3-2条（作業の留意点）

設計作業の実施に際し、特に留意する点は、次のとおりとする。

- 1 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 2 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 3 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 4 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 5 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- 6 現地調査等施設の状況確認を行う場合は、できる限り施設管理者の同行による意見・助言を受けて実施するものとする。
- 7 詳細な現地調査の必要性については、監督職員と協議するものとする。

第4章 打合せ

第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初回 設計作業着手前の段階
- 第2回 中間打合せ（施設整備計画資料のとりまとめ段階）
- 第3回 中間打合せ（河川協議資料のとりまとめ段階）
- 第4回 中間打合せ（土地改良事業計画書（案）とりまとめ段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互に確認するものとする。

第5章 成果物

第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R 若しくはDVD-R）正副2部
- 2 成果物の出力1部（黄色（JIS Z8102：2001に規定する色No. 61）表紙、黒文字製本）

なお、報告書の最前部には、本業務の要約版を掲載するものとし、その内容は、別途監督職員の指示によるものとする。

第5-2条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県鹿児島市喜入中名町 1000-28

九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所 薩摩支所

第6章 契約変更

第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第2-2条に示す「基本条件」に変更が生じた場合。
- 2 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- 3 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 4 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 5 履行期間の変更が生じた場合。
- 6 関係機関等の対外的協議等により、設計計画等に変更が生じた場合。
- 7 その他

第7章 定めなき事項

第7-1条 (定めなき事項)

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1

【対象施設一覧表】

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
【取水施設－頭首工】		
1－1．馬渡川頭首工		
(1) 型 式	コンクリート固定型	
(2) 全可動部	堤長 13.20m 堤高 2.20m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	13.20m×直高 2.20m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=89.70m	
1－2．馬渡川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	10.5m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	
(4) 寸 法	B2.40m×H2.40m	
(5) 門 数	1 門	
2－1．高取川頭首工		
(1) 型 式	コンクリート固定型	
(2) 全可動部	堤長 14.00m 堤高 2.00m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	13.20m×直高 2.20m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=81.50m	
2－2．高取川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	4.5m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	
(4) 寸 法	B1.90m×H1.90m	
(5) 門 数	1 門	
3－1．集川頭首工		
(1) 型 式	コンクリート固定型	
(2) 全可動部	堤長 8.00m 堤高 1.50m	
(3) ゲート型式	油圧式自動倒伏堰	
(4) 寸法径間	8.00m×直高 1.50m	
(5) 門 数	1 門	
(6) 計画取水位	EL=72.60m	
3－2．集川取水口		
(1) 形 式	鉄筋コンクリート造	
(2) 最大取水量	2.0m ³ /sec	
(3) ゲート形式	鋼製ローラーゲート	
(4) 寸 法	B1.50m×H1.85m	
(5) 門 数	1 門	

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
【取水施設－導水路】		
4－1． 1号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	3,082m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－2． 2号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	3,207m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－3． 3号隧道		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	1,716m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－4． 馬渡取付部		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 1.20m	
(3) 延 長	62m	
(4) 最大通水量	10.5m ³ /s	
4－5． 高取導水路		
(1) 型 式	標準馬蹄形	
(2) 規 格	r = 0.95m	
(3) 延 長	317m	
(4) 最大通水量	4.5m ³ /s	
4－6． 集導水路		
(1) 型 式	鉄筋コンクリート	
(2) 規 格	1.50m×1.50m	
(3) 延 長	128m	
(4) 最大通水量	2.0m ³ /s	
【取水施設－揚水施設】		
5－1． 東部揚水機場		
(1) 位 置	指宿市池田古巣 3149 の 4 番地先	
(2) 揚 水 量	0.632m ³ /s	
(3) 実 揚 程	91.0m	
(4) 全 揚 程	95.0m	
(5) 揚 水 機	立軸斜流、φ350mm、3台	
(6) 原 動 機	315KW、3台	
5－2． 南部揚水機場		
(1) 位 置	指宿市開聞上野字西古場 2059 番地先	
(2) 揚 水 量	1.144m ³ /s	
(3) 実 揚 程	90.5m	
(4) 全 揚 程	93.0m	

項目	工作物の構造又は能力	備考
(5) 揚水機	立軸斜流、φ400mm、3台	
(6) 原動機	510KW、3台	
【取水施設－揚水施設】		
5－3．西部第一揚水機場		
(1) 位置	指宿市池田石坂 5475-10 番地先	
(2) 揚水量	3.125m ³ /s	
(3) 実揚程	10.7m	
(4) 全揚程	11.7m	
(5) 揚水機	立軸斜流、φ600mm、4台	
(6) 原動機	132KW、4台	
5－4．西部第二揚水機場		
(1) 位置	南九州市穎娃町郡字中の迫 3794 番地先	
(2) 揚水量	3.125m ³ /s	
(3) 実揚程	130.6m	
(4) 全揚程	135.0m	
(5) 揚水機	立軸斜流、φ600mm、5台	
(6) 原動機	1,200KW、5台	
【取水施設－加圧機場】		
6－1．西部2号幹線水路加圧機場		
(1) 位置	南九州市穎娃町上別府苅里畑 4890-3	
(2) 揚水量	3.25m ³ /min	
(3) 全揚程	57m	
(4) 加圧機	(主)横軸片吸込渦巻、φ150mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ65mm、2台	
(5) 原動機	50KW、2台	
6－2．西部4号幹線水路加圧機場		
(1) 位置	南九州市穎娃町上別府宝代山の下 8628	
(2) 揚水量	6.16m ³ /min	
(3) 全揚程	54m	
(4) 加圧機	(主)横軸片吸込渦巻、φ250mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ80mm、2台	
(5) 原動機	80KW、2台	
6－3．西部8号幹線水路加圧機場		
(1) 位置	南九州市知覧町西元芝口 12053	
(2) 揚水量	13.32m ³ /min	
(3) 全揚程	52m	
(4) 加圧機	(主)横軸両吸込渦巻、φ350mm、2台	
(5) 原動機	160KW、2台	
6－4．西部10号幹線水路加圧機場		
(1) 位置	南九州市知覧町塩屋堅迫 14704	
(2) 揚水量	9.78m ³ /min	
(3) 全揚程	62m	
(4) 加圧機	(主)横軸両吸込渦巻、φ300×250mm、2台 (保圧)横軸片吸込渦巻、φ100×80mm、2台	
(5) 原動機	145KW、2台	
6－5．西部12号幹線水路加圧機場		

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
(1) 位 置	枕崎市茅野町 524	
(2) 揚 水 量	6.12m ³ /min	
(3) 全 揚 程	66m	
(4) 加 圧 機	(主) 横軸両吸込渦巻、φ250×200mm、2台 (保圧)横軸多段渦巻、φ80mm、2台	
(5) 原 動 機	100KW、2台	
【取水施設一用水路】		
7-1. 東部送水路		
(1) 支配面積	716ha	
(2) 最大通水量	0.622m ³ /s	
(3) 延 長	8,093m	
(4) 構 造	φ300mm ~ φ800mm	
7-2. 南部送水路		
(1) 支配面積	1,481ha	
(2) 最大通水量	1.123m ³ /s	
(3) 延 長	6,503m	
(4) 構 造	φ600mm ~ φ1,000mm	
7-3. 西部送水路		
(1) 支配面積	3,875ha	
(2) 最大通水量	3.083m ³ /s	
(3) 延 長	21,666m	
(4) 構 造	φ600mm ~ φ1,500mm	
7-4. 東部幹線水路		
(1) 支配面積	294ha	
(2) 最大通水量	0.072m ³ /s ~ 0.338m ³ /s	
(3) 延 長	4,238m	
(4) 構 造	φ350mm ~ φ600mm	
7-5. 南部幹線水路		
(1) 支配面積	1,481ha	
(2) 最大通水量	0.180m ³ /s ~ 0.519m ³ /s	
(3) 延 長	13,098m	
(4) 構 造	φ250mm ~ φ800mm	
7-6. 西部幹線水路		
(1) 支配面積	3,875ha	
(2) 最大通水量	0.092m ³ /s ~ 0.759m ³ /s	
(3) 延 長	40,844m	
(4) 構 造	φ300mm ~ φ1,100mm	
【取水施設一ファームポンド】		
8-1. 東部ファームポンド		
(1) 貯 水 量	13,800m ³	
8-2. 南部第1ファームポンド		
(1) 貯 水 量	11,400m ³	
8-3. 南部第2ファームポンド		
(1) 貯 水 量	7,200m ³	
8-4. 南部調圧水槽		
(1) 貯 水 量	3,800m ³	

項 目	工作物の構造又は能力	備 考
8-5. 西部第1ファームポンド		
(1) 貯水量	30,000m ³	
8-6. 西部第2ファームポンド		
(1) 貯水量	16,800m ³	
8-7. 西部第3ファームポンド		
(1) 貯水量	8,700m ³	
8-8. 西部調圧水槽		
(1) 貯水量	4,900m ³	

別紙2

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業		
1-1. 現地調査	本業務の検討に必要な現地調査を実施し、地形、水源位置、対象施設位置及び施設状況等を把握する。	
1-2. 既存資料の把握・整理	本業務の検討に必要な貸与資料の内容を把握・整理を行い、業務計画を作成する。	
2. 用水計画の更新		
2-1. 用水計画諸元の整理	<p>過年度業務報告書及び関連業務で実施する土地利用計画（案）等に基づき、現行水利使用規則（令和5年3月）と事業計画（案）に係る用水諸元について精査を行い、対比表の更新を行う。なお、用水諸元は、下記項目について整理を行う。</p> <p>①かんがい面積</p> <p>②畑かん用水（かんがい期間、かんがい方式、消費水量、TRAM・間断日数、有効雨量、かんがい効率、かん水率、建ぺい率）</p> <p>③新たな水利用（防霜用水（春・秋）、防除用水（春～秋）、土壌改良用水（普通畑・施設畑）、かんしょ基腐病の湛水防除用水）</p>	
2-2. 水収支計算	<p>2-1に基づき過年度業務を参考に直近30カ年（H7～R6）を対象に水収支計算を行い、団地毎の期別最大取水量、年間総取水量の算定を行い、取水パターン図を作成する。</p> <p>また、各頭首工（馬渡川・高取川・集川）より池田湖への注水量（取水量）を算定する。</p> <p>河川からの注水量及び池田湖の流入及び流出量は、貸与する管理日報等のデータを使用する。</p> <p>併せて、河川流量調査結果をもとに、過年度作成のタンクモデルについて検証を行う。</p>	
2-3. 計画基準年の検証	2-2の結果に、気象条件及び河川流量等を加えて現行計画基準年（S33）の検証を行う。	
3. 施設整備計画の資料作成		
3-1. 施設整備計画の資料作成	貸与資料等に基づき、別紙1対象施設一覧表の整備対象施設の設計条件、施設整備内容（仮設計画、施工計画等を含む）を補足し、施設整備計画を精査する。 対象工種：土木施設（建屋含む）、機械設備、電気設備、水管理施設	
4. 事業費の精査		
4-1. 事業費の精査	過年度成果及び3で取りまとめた内容を踏まえ、工事単価の根拠資料等を作成し、事業費の精査とりまとめを行う。なお、事業費の精査は、農林水産省土地改良工事積算基準等に基づき行うものとする。	

作業項目	作業内容	備考
5. 土地改良事業計画書(案)の更新		
5-1. 土地改良事業計画書(案)の更新	<p>過年度取りまとめた事業計画書(案)について、第2-6条の関連業務成果、2～4の結果をもとに更新する。</p> <p>更新する項目については、別紙3を想定している。</p> <p>なお、別紙3に示す現況・計画図面(S=1/50,000)の基図は、国土地理院より入手し過年度成果を参考に更新する。</p> <p>また、地図については国土地理院に承認を得るため必要な資料作成する。</p>	
5-2. 土地改良事業計画書(案)補足説明資料の更新	<p>事業計画書(案)補足説明資料について、第2-6条の関連業務成果、2～4の結果をもとに更新する。</p>	
5-3. 新規地区検討会資料の作成	<p>新規地区検討会資料の作成については、別紙4の項目について、上記5-1.5-2の成果等を基にチェックリストに添付する資料を作成する。</p> <p>(参考) 新規地区検討会資料A版、300ページ程度</p>	
6. 河川協議資料の作成		
6-1. 河川協議資料の作成	<p>2の結果を基に、現行河川協議との対比表を作成するとともに、南薩地区の事業実施に伴う水利権量の変更に必要となる河川協議用の説明資料及び根拠資料の作成を行う。</p>	
7. 照査	<p>照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。</p>	
8. 点検とりまとめ	<p>業務成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。</p>	

別紙3 土地改良事業計画書（案）の構成

土地改良事業計画書（案）の作成に関する構成は以下のとおりである。

作成対象：当該業務において土地改良事業計画書（案）及び補足説明資料を作成する。

編集対象：関連業務及び貸与資料等の成果を土地改良事業計画書（案）及び補足説明資料に取り込み編纂する。

項 目	作成 対象	編集 対象
第1章 目的	○	
第2章 地域及び地積		
第1節 地域		○
第2節 地積		○
第3章 現況		
第1節 気象		
1. 一般気象	○	
2. 特殊気象	○	
第2節 土地状況		
1. 地形、土壌		○
2. 土地利用の状況		○
3. 土地所有の状況		○
第3節 水利状況		
1. 用水状況		
(1) 用水系統	○	
(2) 用水施設	○	
(ア) 取水方法一覧表	○	
(イ) 改修を要する施設一覧表	○	
2. 排水状況	○	
3. 河川状況	○	
第4節 道路概況		
1. 道路概況		○
第5節 地域農業の概況		
1. 産業別就業人口		○
2. 経営耕地広狭別農業経営体数		○
3. 主要家畜頭数		○
4. 主要作物作付状況		○
5. 農業の動向		○
第6節 地域環境の概況		○
第4章 一般計画		
第1節 事業計画の要旨		
1. 要旨	○	
2. 事業別面積	○	
第2節 営農計画及び土地利用計画		
1. 営農計画の概要		○
2. 土地利用区分		○
3. 作付方式		○
4. 生産計画		○
第3節 用水計画		
1. 計画基準年	○	
2. 計画かんがい方式	○	
3. 計画用水系統	○	
4. 計画用水量	○	
5. 水源計画		
(1) 水利用計画	○	
(2) 用水対策		
(ア) 貯水池	×	
(イ) 井堰及び自然取水口	○	
(ウ) 揚水機	○	
(エ) 用水路	○	

項 目	作成 対象	編集 対象
第5章 主要工事計画		
第1節 用水施設		
1. 貯水池	×	
2. 頭首工	○	
3. 揚水機	○	
4. 用水路	○	
5. その他かんがい施設	○	
第6章 附帯工事計画	×	
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	○	
第8章 環境との調和への配慮		○
第9章 事業費の総額及び内訳	○	
第10章 効用		○
第11章 関連する事業	○	
第12章 現況・計画図面		
1. 現況平面図	○	
2. 計画平面図及び土地利用計画図	○	
3. 主要構造図	○	
4. 図面目録	○	
注) ○：該当（計画書記載） ×：該当なし（項立てして記載し、「該当無し」と記載）		

別紙4 新規地区検討会資料（チェックリスト）の作成項目は以下のとおりである。

1. 必須事項

項 目	評 価 の 内 容
1. 事業の必要性が明確であること（必要性）	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形・地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。
3. 事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。
4. 受益者負担の可能性が十分であること。（公平性）	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標
大項目	中項目	小項目	
効率性	事業の経済性、効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり） スマート農業技術等の導入
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率 ②高収益作物の作付面積の増加率
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント
	農業の持続的発展	農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備
			施設の重要度評価を踏まえた更新等整備
			重要度の高い国営造成施設における耐震化
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	
	農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標
大項目	中項目	小項目	
事業の実施環境等	環境への配慮	生態系・景観	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況
		関係計画との連携	①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係都道府県や市町村の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域における開発計画と本事業との整合性 ④関係計画における関連事業等への位置付け
	関係機関との協議	①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	
	関連事業との調整	①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	
	地元合意	①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	
	営農推進体制・環境	①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤輸出事業計画（GFP グローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	
	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	
	ストック効果の最大化	ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	

3. 特定監視項目

項目	評価の内容
1. 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。
2. 受益面積	・最近年の面積を把握している。

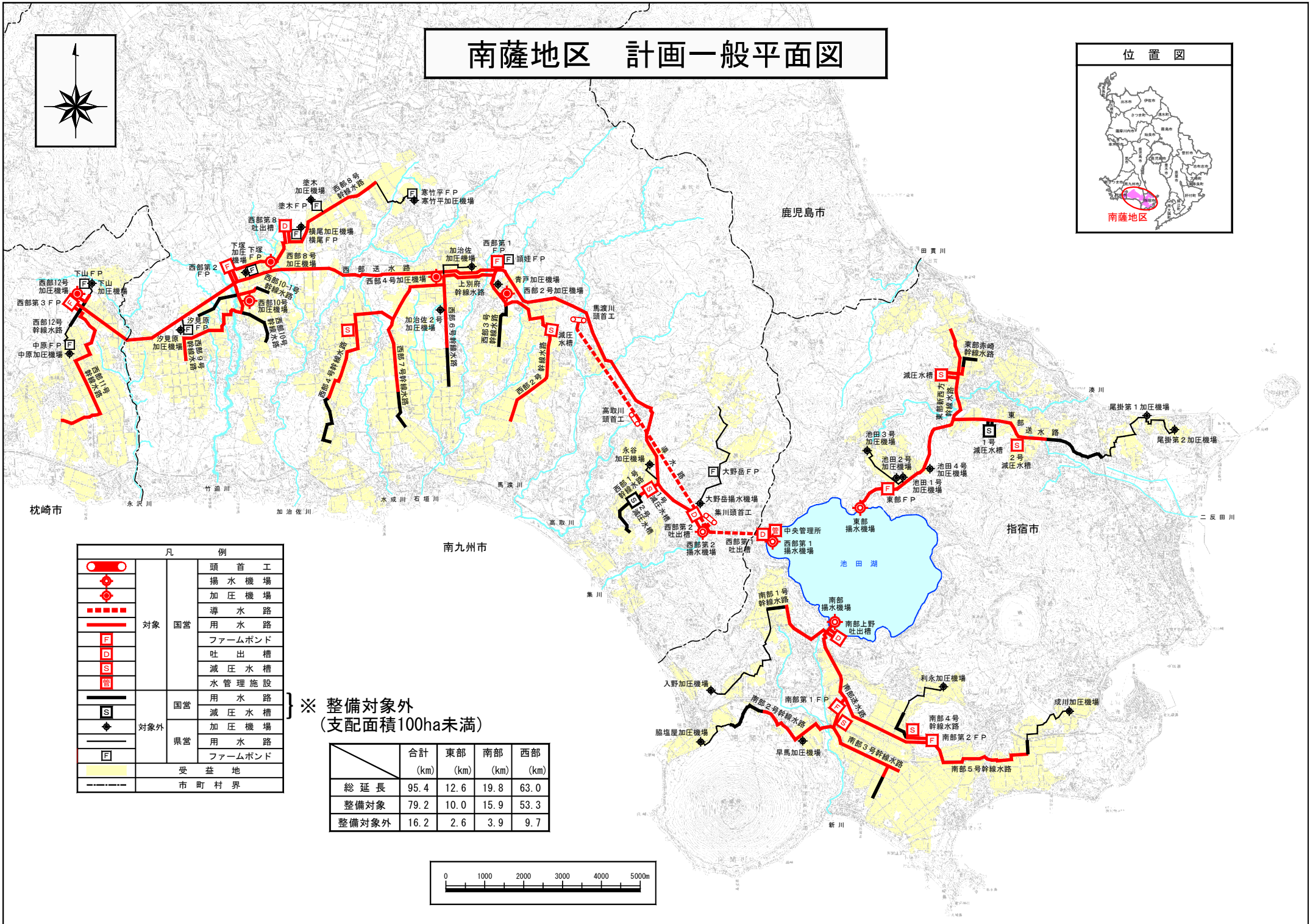
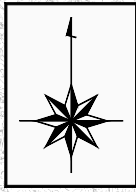
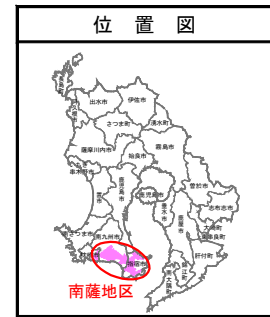
令和7年度 国営土地改良事業地区調査
南薩地区事業計画書策定その他業務

図 面 目 録

番号	名 称	枚 数	備 考
1	業 務 位 置 図	1	
計		1	

南薩地区 計画一般平面図

位置図



凡 例	
	頭首工
	揚水機場
	加圧機場
	導水路
	用水路
	ファームポンド
	吐出槽
	減圧水槽
	水管理施設
	用水路
	減圧水槽
	加圧機場
	用水路
	ファームポンド
	受益地
	市町村界

※ 整備対象外
(支配面積 100ha未滿)

	合計 (km)	東部 (km)	南部 (km)	西部 (km)
総延長	95.4	12.6	19.8	63.0
整備対象	79.2	10.0	15.9	53.3
整備対象外	16.2	2.6	3.9	9.7

